

卓 話

平成 22 年 10 月 19 日

『岐阜市の公園緑地について』

岐阜市 都市建設部公園整備課
課長 高橋 剛様

○はじめに

- ・公園緑地行政の使命は、
安全で快適な、緑豊かな都市環境の形成を通じて、豊かな国民生活に資することにある。
そのため、都市計画、環境、防災、福祉、観光などの行政領域とも密接な連携が必要である。
- ・都市における公園緑地の意義
環境を保全する・・・人と自然が共生する都市環境の形成に寄与。
景観を形成する・・・生物の多様性を育み、四季の変化が織成す、美しい潤いのある景観を形成する。
防災・・・・・・・・災害防止、災害時の避難地、救急救命・救援活動の拠点としての機能により都市の防災性、安全性の確保に寄与。
レクリエーション・・・都市住民の多様な余暇活動や健康増進活動を支える場を提供する。



○岐阜市公園緑地総括表

都市計画決定公園 193 箇所 364.42ha
うち、開設公園 188 箇所 2,767,582 m² () 数字は一部未開設
都市計画決定以外の公園 176 箇所 718,961 m²
開設公園の合計 364 箇所 3,486,543 m²
人口(平成 17 年国勢調査) 413,367 人
一人あたりの公園面積 8.43 m² 全国平均 9.70 m²
後で説明するが緑の基本計画における目標値：2030 年までに 一人あたり 11 m²

○岐阜市の主な公園(岐阜市のホームページで紹介してあるもの)

1. 岐阜公園
 2. 岐阜ファミリーパーク
 3. 岐阜市民公園
 4. 梅林公園
 5. 長良公園
 6. 境川緑道公園
- その他 金公園、粕森公園など

○岐阜公園

- 総合公園 開設面積 20.3ha
- ・公園の存在効果の一つに「経済的効果」があるが、岐阜公園は年間約 90 万人が訪れる観光公園でもある
 - ・平成 18 年に「日本の歴史公園 100 選」に選ばれる。

- ・その後、「信長公の鼓動が聞こえる歴史公園」として整備。
- ・昨年 12 月には、市制 120 周年記念事業の一つとして、岐阜公園総合案内所等の施設がオープン。
- ・公園正門前には、市制 100 年で寄贈していただいた「若き日の信長像」を公園内から移設。
- ・現在、発掘調査が進められており、国の史跡指定を目指している。
- ・桜の名所
ソメイヨシノ、シダレザクラなど岐阜公園外苑（日中友好庭園一帯）に約 480 本の桜があり、春には花見客で賑わう。
- ・菊人形・菊花展
今年で第 39 回を迎える。10 月 23 日から 11 月 23 日まで、岐阜公園愛菊会会員の育てた三千鉢余りの菊が展示されるほか、信長公に関連したテーマで菊人形を作成。
昨年「フロイスに食膳を運ぶ信長公」
今年「若き日の信長、マムシの道三を呑む」
富田正徳寺（現在の一宮市）における道三との会見場面。

○岐阜ファミリーパーク

- ・総合公園 開設面積 56.6ha
- ・指定管理者により平成 18 年度より管理している。
- ・施設の老朽化等により、今年度、環状自動車道の整備とも関連付け、再整備基本計画を策定中。

<こどもゾーン>

施設 太陽の池 ボート遊び アスレチック ジェロニモ砦

その他、ゴーカート、サイクルモノレール、ボブスレー、パターゴルフなど

主なイベント

ファミリーフェア 3月

鯉のぼりまつり 5月

<スポレクゾーン>

施設 テニスコート（10 面）、野球場、サッカー兼ラグビー場、芝生広場、キャンプ場など。
芝生広場・・・来年 3 月にトリム広場がオープン予定。

1 億 5 千万円の大型複合遊具を(財)日本宝くじ協会から寄附を受け設置。また、その周辺施設を約 5 千万円かけて、整備中。合計 2 億円の遊具広場ができる。

近々、広場の愛称募集予定であり、是非応募していただきたい。

○岐阜市民公園（岐阜公園、ファミリーパークと共に本市に 3 つある総合公園の一つ）

総合公園 開設面積 18.5ha

農林部で管理、よく整備された芝生広場が有名。

○梅林公園

- ・近隣公園 開設 2.6ha

<歴史>

明治 5 年 篠田祐助氏が私有地の雑木を取り除き梅などを植えて公園に整備。

明治 14 年 篠ヶ谷園として一般に開放

明治 21 年ころから梅林公園と呼ばれるようになる。

昭和 23 年 岐阜市へ土地を寄贈 正式に梅林公園となる。

昭和 26 年 梅まつりが始まる。昨年で 58 回を数える。

<園内の梅>

約 50 品種 紅梅 600 本、白梅 700 本、計 1300 本とされている。

早咲き種から遅咲き種まで多種にわたり植えられているため、1月下旬から3月上旬まで楽しめる。

紅（あか）：蘇芳梅（すおうばい）

白：一重緑萼（ひとえりよくがく）

桃：武蔵野（むさしの）

3月の第一土日に岐阜梅まつりを開催しており、東海随一と言われる梅を觀賞していただきたい。

○長良公園

- ・地区公園 平成5年に岐阜大学跡地に開設。面積 7.0ha
- ・愛称 花スポながら
- ・北側 平成18年度より、指定管理者で管理・・季節の花、大型複合遊具
- ・平成20年4月に約1億3千5百万円をかけた、遊具広場がリニューアルしたことで、本市で子どもに一番人気のある公園となっている。
- ・平成19年度年間32万人→平成20年度48万人（1.5倍）
- ・南側 本年8月に県から移管を受け市で管理している。現在、軽スポーツなど楽しめる公園だが、新たな施設要望も多くあり、再整備計画を予定している。

＜公園内のイベント＞

- ・毎年、4月29日に花と緑のフェスティバル「フローラリー岐阜」を開催し、緑化意識の高揚を図る。
- ・昨年まで、9回、冬期にイルミネーションが開催されていたが、主催者の高齢化等の理由により、今年から、当面中止することとなる。

○境川緑道公園

- ・緑地 平成7年4月に開設 面積 17.4ha
- ・旧柳津町時代に河川敷につくられた緑地。
- ・施設 テニスコート、パターゴルフ、野鳥観察広場、ゲートボール場、スポーツ広場ほか。多くのイベントが行われ、市民の健康づくりにも寄与。

○岐阜市緑の基本計画

- ・昨年10月、市民が協働で都市の緑化を総合的かつ体系的に推進していくための施策として改訂。
- ・都市の将来像
「清流と深緑の山々に恵まれ、緑とともに暮らす快適都市・岐阜」
- ・2つの重点施策
 - 1.都心部の緑化
緑が少ない都心部において、積極的に緑化を進めるため、「緑の骨格軸」づくりを推進する。
 - 2.周辺地域の緑化
一定の範囲に決められた公園等（街区公園の誘致距離 250m）を配置するのではなく、それぞれの生活拠点の状況にあわせ、柔軟に公園整備を進めていく。

○都市の緑の骨格軸

- ・県都にふさわしい賑わいと魅力を演出する緑の創出。
- ・骨格軸の起終点 長良公園、加納公園と位置づけ、その一帯を官民協働で
- ・積極的に緑化を進める。
特に中心市街地は「都市の緑の創出拠点」と位置づけ街路、水路、公園などで、水と緑のネットワークを形成していく。

○中心市街地の緑化

<緑化の方針として>

岐阜大学跡地・・・緑の拠点

金華橋通り・・・街路樹のボリュームアップ

金公園・・・緑の拠点。現在、再整備中。中活事業

玉宮通り・・・まちづくり協定による壁面後退部分への緑化

御鯨街道・・・歴史的な街並みにあわせた緑化の推進。観光資源へ。

長良橋通り・・・アート作品を生かした文化的な空間と調和した緑化。

岐阜駅・・・緑の拠点 杜の駅

中心市街地全般・・・まちなか歩きの魅力向上のため、道路緑化を推進。

公共施設の前庭などでの緑化推進。

民有地緑化の促進。

などを実施し、緑化を積極的に推進する。

○緑化の目標水準を定める区域

5つの緑化重点地区のなかで、次の区域。

- ・金華山・長良川緑化重点地区の長良川以南
- ・中心市街地緑化重点地区
- ・加納緑化重点地区

敷地内の10%以上の緑化を推進するために、大規模建築物等緑化誘導指針の活用（地上6階以上の建物、述べ床3,000㎡を超える建築物）や緑化助成制度の差別化（優遇）を実施している。

○最後に

公園の「リスクとハザード」について、リスクとは、遊びの楽しみの要素で冒険や挑戦の対象となり、子どもの発達にとって必要な危険性は遊びの価値のひとつであり、ハザードー遊びの価値とは関係のないところで事故を発生させる恐れのある危険性であると考えられています。

このリスクとハザードの境界は曖昧であり、公園を維持管理していく上で様々な問題が発生することがあるが、はじめに申し上げたように、「公園緑地行政の使命」を念頭におきながら、適正な管理に努めていきますので、主な公園に限らず、お近くの公園にお孫さんと訪れたり、グラウンドゴルフなどの軽スポーツで利用していただきたいと思います。